

[ローマ帝国の成立と発展]

前 31 年…アクティウムの海戦：オクタヴィアヌスが勝利

→元首制(プリンキパトゥス)へ移行。

後 9 年…トイトブルク森の戦い：ゲルマン人に敗れて北西の領土の拡大が止まる。

暴君ネロ帝…キリスト教徒を迫害。在位 54～68 年

〈五賢帝の時代〉：ローマの平和(パックス＝ロマーナ)と呼ばれる平和な時代。

ネルヴァ

トラヤヌス

ハドリアヌス

アントニヌス＝ピウス

マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス

五賢帝時代：ローマの平和  
地中海貿易が盛ん

トラヤヌス帝…ローマ帝国の領土を最大とする。

マルクス＝アウレリウス＝アントニヌス帝…ストア派の思想家でもある。著『自省録』

〈都市の発達〉：従軍基地などから、ローマ風の都市が発達。

ウインドボナ…のちのウィーン

ロンディニウム…のちのロンドン

ルテティア…のちのパリ。

**カラカラ帝**…帝国領内の全自由民にローマ市民権をあたえる(アントニヌス勅令)

公衆浴場を建築するなど、公共事業に着手